

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 南丹市

プロジェクト名	市民が主役プロジェクト	実施期間	H26～H29	テーマ	その他（市民協働）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子高齢化、地域経済の低迷などの地域を取り巻く環境について、行政だけで解決できない課題は多くある。その中で市民・団体・大学などとの協働により、まちづくりを進め、市民が主役となって様々な施策を実施することにより、新たな手法や解決策が見い出され地域の課題解決につながる事が期待できる。						
プロジェクトの目的及び概要	行政運営を進めていく上においては、市民が主役であることが大切である。特に南丹市には、大学等教育機関が、多数設置されており、その地域資源を大いに活用していく。市民一人一人が協働に興味を持っていただくための情報発信・相談体制を整えとともに、まちづくりの核となる地域組織や団体、NPOなどの育成・活動支援を行う。						
	総事業費（千円）	95,544	本年度事業費（千円）	16,366	交付金額（千円）	4,660	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	国際交流事業	交付金対象事業	国際交流活動、在住外国人支援		多文化交流により、国際感覚を養い国際社会に対応できる人材を育成するため、市民を対象にした国際的な交流活動や外国語教室の実施、また、外国人住民が安心して暮らせるための環境づくりを行えた		
住民協働事業	小学校跡施設利活用推進事業	交付金対象事業	閉校となった小学校跡施設の利活用を図る		南丹市立吉富小学校跡施設プール解体撤去工事設計業務		
	ものづくりのまち推進事業	交付金対象事業	空き家活用ものづくり振興補助金		南丹市の特長であるものづくりに関わる様々な取り組みを、市民と共に行うことにより、ものを作る楽しさやものを大切に暮らすについて考える機会づくりを行えた		
	市民協働推進事業	交付金対象事業	市民提案型まちづくり活動支援交付金		市民団体が主体となって地域などの公共的な課題を解決する提案・実施いただく事業に補助を行い、市民活動の活性化を図れた 28件		
	なんたん中間支援センター運営事業	交付金対象事業	市民活動の支援、指導等の拠点運営費		南丹市における市民協働のまちづくりを一層推進し、地域活動の変化に伴う団体の複雑なニーズに対応した支援を行えた		
	道路河川等清掃活動補助事業	関連事業	地域の各種団体が実施する南丹市管理の道路および河川等の清掃活動に対する補助		補助金交付 37団体		
	美山町地域振興会支援事業	関連事業	地域振興会に対する活動支援事業		「自らの地域は自らの手で」の意識のもと、取り組みを展開している美山地域の住民組織「地域振興会」（旧村単位に設立）の活動に対し補助金を交付し、地域課題の克服や、人材育成、新たな戦略による地域おこしなどの多様な活動を展開しており、市民協働の先駆的な取り組みを支援できた		
住民が取り組む事業							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 南丹市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	中間支援センター相談人数 相談件数 1,000人		成果指標の実績値 (H30年3月31日時点)	556人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	相談件数は目標値を達成できなかったが、来館数は1,059人であった	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標 ②	成果指標の目標数値	登録したNPO数 30団体		成果指標の実績値 (H30年3月31日時点)	33団体
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を達成することができた	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標 ③	成果指標の目標数値	市民活動交付金を受けて活動する大学の団体数		成果指標の実績値 (H30年3月31日時点)	4団体
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	さらなる連携を深めるとともに団体数を現状よりの増加を目指す	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>南丹市の特長であるものづくりに関わる様々な取り組みを、市民と共に行うことにより、ものを作る楽しさやものを大切にする暮らしについて考える機会づくりを行えた。また、閉校となった小学校跡施設の施設の活用を図ることでNPO団体や地域団体が活動する施設としても活用ができた。そして、市民提案型まちづくり活動支援などを通じて地域の繋がりの維持や地域の課題解決に向けた取り組みを行うことができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	地域課題の克服や、人材育成、新たな戦略による地域おこしなどの多様な活動について、市民協働取り組みを行うことができた			
	住民の自治意識を高める成果	南丹市の特長であるものづくりに関わる様々な取り組みを、市民と共に行うことにより、ものを作る楽しさやものを大切にする暮らしについて考える機会づくりや、市民団体が主体となって地域などの公共的な課題を解決する提案・実施いただく事業に補助を行い、市民活動の活性化を図れた			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。